

熊本県立高等技術専門校

施設内訓練ビジョン

< 普通課程 >

自動車車体整備科

電気配管システム科

総合建築科

令和2年(2020年)2月

熊本県立高等技術専門校・熊本県労働雇用創生課

目 次

はじめに	1
第1 熊本県立高等技術専門校の施設概要	3
第2 専門校の施設内訓練の現状	5
1 応募から修了までの状況（3科合計）	5
2 各訓練科の概要	8
3 各訓練科の就職状況等	13
4 訓練施設の老朽化の状況	19
第3 専門校で育成する人材像	22
第4 各訓練科の教育訓練の充実に向けて	23
1 自動車車体整備科	23
（1）今後の自動車車体整備科において育成していく人材像	23
（2）自動車車体整備科の訓練目標の再設定	29
（3）今後の訓練目標に向けた具体的な取組み内容	32
今後更に充実していく教科目等の具体的な内容	37
（4）取組みの成果を測る指標	39
2 電気配管システム科	41
（1）今後の電気配管システム科において育成していく人材像	41
（2）電気配管システム科の訓練目標の再設定	49
（3）今後の訓練目標に向けた具体的な取組み内容	52
今後更に充実していく教科目等の具体的な内容	59
（4）取組みの成果を測る指標	61
3 総合建築科	63
（1）今後の総合建築科において育成していく人材像	63
（2）総合建築科の訓練目標の再設定	71
（3）今後の訓練目標に向けた具体的な取組み内容	74
今後更に充実していく教科目等の具体的な内容	77
（4）取組みの成果を測る指標	79
4 3科共通	82
第5 本県の地域産業に対する人材の輩出に向けて	83
1 訓練生確保に関する取組みについて	83
2 県内就職者を増加させるための取組みについて	85
第6 専門校の指導員の教育力の向上に向けて	87
1 指導員体制の充実	87
2 各指導員の資質向上に向けて	87
第7 ビジョンの進捗状況管理(PDCA)について	89
委員会設置要項	92
委員名簿	94
会議開催期日	95
参考資料	96

はじめに（策定趣旨、対象期間等）

熊本県立高等技術専門校（以下「専門校」という。）は職業能力開発促進法の規定により都道府県に設置するものとされている職業能力開発校である。

専門校は昭和 21 年（1946 年）8 月に熊本県立熊本特設補導所として設置された後、関係法令等の改正に対応し名称変更等を数次行い、現在に至っている。

職業能力開発校では、施設内訓練（開発校にある実習室等の中（施設内）で行う教育訓練）のほか、国（厚生労働省）からの委託事業として委託訓練（施設内訓練に対しては施設外訓練となる。）を実施している。

専門校の施設内訓練は、現在、自動車車体整備科、電気配管システム科、総合建築科、販売実務科（対象は知的障がい者）の 4 科により実施している。

本県では、平成 28 年熊本地震の発生以前から少子高齢化や若者の県外流出などに伴う産業人材不足への対応は本県が抱える重要な課題として取組みを進めてきたところであるが、震災を機に、産業人材不足は深刻化しており、熊本の復興と将来を担う人材を育成・確保していく取組みを進めることは喫緊の課題となっている。

震災からの復興需要の終息した後の、本県の地域社会を見通すとき、実践技能者を養成し本県の地域産業に人材を輩出していく専門校の役割はますます重要になってくる。

専門校がその役割を十分果たしていくためには、公共職業能力開発施設（職業能力開発校）を構成する 3 つの要素である充実した実習室等（建物）、職業訓練指導員（先生・人）、訓練生（生徒・人）を確保していくことが必要となる。

この熊本県立高等技術専門校施設内訓練ビジョン（以下「ビジョン」という。）は、平成 28 年度に設立から 70 年を迎えた専門校の施設内訓練について、これを将来にわたって充実していくため、これまで行ってきた教育訓練の実施状況を点検・評価し、今後の方向性を整理し、今後これに関する取組みを進めていくために策定したものである。

策定に当たっては、平成 31 年 3 月に「職業能力開発施設拠点化高等技術専門校施設内訓練検討委員会」を設置し、委員意見を聴取し取りまとめを行った（右記参照）。

このビジョンの対象期間は、「熊本県総合計画（4 力年戦略）」の次期計画期間である令和 2 年度（2020 年度）から令和 5 年度（2023 年度）と合わせることとしているが、今後は「熊本県総合計画」の改訂時期に合わせて、このビジョンの内容を改訂していくことを予定している。

なお、施設内訓練のうち短期課程〈販売実務科〉については別途整理するものである。

熊本県立高等技術専門校
熊本県労働雇用創生課

委員会の設置について

熊本県立高等技術専門校（以下「専門校」という。）が公共職業訓練施設としての役割を果たし、熊本の地域産業を支える有為な人材を将来にわたり安定的に育成・輩出していくためには、訓練を充実していくことが必要。

専門校の各実習棟をはじめとする建物は、全体的に老朽化していることから、今後、建物の再整備（ハード整備）に向けた準備作業を進めて行くこととしている。訓練の充実に当たっては、ハード整備とともに、時代の変化や技術革新に対応したカリキュラムの見直しなどソフト面を充実させることが重要。

このため、専門校の施設内訓練（自動車車体整備科、電気配管システム科、総合建築科及び販売実務科をいう。）の充実等に関する具体的な内容を検討するため、有識者等による「職業能力開発施設拠点化 高等技術専門校施設内訓練検討委員会」を平成31年3月に設置した。

各部会で行った検討内容

- 委員会には自動車車体整備科部会、電気配管システム科部会、総合建築科部会及び販売実務科部会を置き、訓練科毎に会議（部会の会議）を開催し、検討作業を行った。
- 普通課程の訓練科（自動車車体整備科、電気配管システム科、総合建築科）に関する検討作業は、平成31年4月開催の第1回部会で素案を説明し、以降、委員意見を聴取、反映し、本書のとおり取りまとめた。

※ 販売実務科部会については別冊参照。

会議開催状況

平成31年（2019年）3月	第1回	委員会
平成31年（2019年）4月	第1回	部会（3つの部会毎に開催）
令和元年（2019年）6月	第2回	部会（3つの部会毎に開催）
令和元年（2019年）10月	第2回	委員会

委員名簿・・・94ページ

進行管理

- 今後は毎年度、このビジョンに掲げた各取組みの進捗状況について点検・評価等を実施し、訓練内容の更なる充実を図っていく。